

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-522856 (P2004-522856A)
 【公表日】平成 16 年 7 月 29 日 (2004.7.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-029
 【出願番号】特願 2002-561113 (P2002-561113)
 【国際特許分類第 7 版】

C 2 5 D 1/08

H 0 1 M 4/74

【F I】

C 2 5 D 1/08 3 1 1

H 0 1 M 4/74 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 7 日 (2005.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 電着によって、電着浴中で電鍍型の導電部 (14) に銅骨格 (10) を被着させるステップと、

b) 被着させた銅骨格 (10) を電鍍型から取り外すステップと、

d) 鉛の電着によって骨格 (10) をさらに成長させてスクリーン材料 (12) を形成するステップとを含む、

開口密度が $1 \sim 20,000 / \text{cm}^2$ の範囲内の銅含有スクリーン材料 (12) からなる、エネルギー変換装置での使用に適した電気導体の製造方法。

【請求項 2】

ステップ b) とステップ d) の間に、電着によって骨格 (10) をさらに成長させる中間ステップ c) を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

骨格 (10) の厚さが $10 \sim 45$ マイクロメートルであることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

スクリーン材料 (12) の開口直径が $50 \sim 100$ マイクロメートルであることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

中間ステップ c) で、Ag、Zn、Cd、Ni、好ましくは Cu および Pb、またはその合金からなる群から選択される金属の析出によって、骨格 (10) をさらに成長させることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 6】

ステップ d) で、 $a + b$ が骨格の厚さ方向のさらなる成長を示し、 $c + d$ が骨格 (10) の平面方向のさらなる成長を示すものとして、さらなる成長が、 $\frac{a + b}{c + d} \geq 5$ に従うことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 7】

電着鉛の表面層を有する銅骨格を含む、開口密度が $1 \sim 20,000$ 開口 / cm^2 の範

囲内の電鍍したスクリーン材料で作られた集電器を含む太陽集熱器。

【請求項 8】

電着鉛の表面層を有する銅骨格を含む、開口密度が $1 \sim 20,000$ 開口 / cm^2 の範囲内の電鍍したスクリーン材料で作られた電極を含む電気化学セル。